

平成 19 年 6 月 29 日

各 位

本店所在地 東京都港区東新橋二丁目 4 番 1 号  
 会社名 株式会社T&Cホールディングス  
 代表者名 代表取締役 田中茂樹  
 (コード番号 3832)  
 問合せ先 取締役社長室長 生井秀人  
 (TEL. 03-5425-7013)

## 平成 19 年 11 月期 中間期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 1 月 15 日の決算発表時に公表いたしました平成 19 年 11 月期の中間期(平成 18 年 12 月 1 日から平成 19 年 5 月 31 日)の連結及び個別の業績予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 19 年 11 月期 中間期業績予想の修正

(1) 連結中間期業績予想数値の修正 (平成 18 年 12 月 1 日 ~ 平成 19 年 5 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	675	△32	△47
今 回 修 正 予 想 (B)	561	△30	△55
増 減 額 (B-A)	△114	2	△8
増 減 率 (%)	△16.9	-	-
前期実績(平成 18 年 11 月期中間期)	689	195	148

(2) 個別中間期業績予想数値の修正 (平成 18 年 12 月 1 日 ~ 平成 19 年 5 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	230	△0.9	△0.5
今 回 修 正 予 想 (B)	209	△13	△17
増 減 額 (B-A)	△21	△12.1	△16.5
増 減 率 (%)	△9.1	-	-
前期実績(平成 18 年 11 月期中間期)	307	160	154

### (3) 中間期業績予想の修正の理由

連結業績におきましては、売上高 561 百万円（当初予想比 114 百万円の減少）、経常利益△30 百万円（当初予想比 2 百万円の赤字幅の縮小）、当期純利益△55 百万円（当初予想比 8 百万円の赤字幅の拡大）に修正いたします。

売上高が当初予想に対して減少いたしますのは、金融アドバイザー事業において、計画していた私募債の償還益が実現しなかったことを主たる要因として、売上高が 81 百万円（当初予想比 100 百万円の減少）となる見込みに加え、投資情報提供事業において、為替・国際金融情報提供の売上が為替証拠金取引の拡大を背景として計画を上回る見込みですが、新興市場の停滞を背景とした個人投資家の投資意欲減退による日本株情報提供の計画未達分をカバーするに至らず、売上高が 480 百万円（当初予想比 14 百万円の減少）となる見込みのためであります。

経常利益は、グループ全体で人件費をはじめとする経費を抑制したこと、映画制作費の償却方法が、配給契約により当初計画から変更になったこと等により、赤字幅が当初予想比 2 百万円縮小する見込みですが、税金費用、少数株主損益を控除した当期純利益については赤字幅が当初予想比 8 百万円拡大する見込みです。

個別中間期業績につきましては、連結業績で説明いたしましたように、計画していた私募債の償還益が実現しなかったことにより売上高を修正いたします。また、連結子会社である T&C Cosmic, Inc. に対する貸付金に対して貸倒引当金 23 百万円、同子会社株式に対して投資損失引当金 11 百万円を計上する見込みにより、経常利益、当期純利益をそれぞれ修正いたします。なお、貸倒引当金および投資損失引当金の計上による連結業績への影響はございません。

通期の業績予想数値については、現在精査中であり、予想数値に修正が生じる場合には速やかに公表いたします。

※今回の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上